

令和2年度政務活動費調査研究報告書

提出日 R 2. 11. 16

事業名	令和2年度市町村議会議員研修「地方分権と自治体の行政改革」		
会派名	大和正風会	報告者	山本光宏 (☎08055088774)
参加者	山本光宏		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	① 令和2年10月21日～ 23日	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市唐崎二丁目13-1)
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方分権や行政改革に関する先進事例を学び、大和市において応用できる取り組み等に活かす為。 ・講義演習を通して地方分権行政改革の為の手法、考え方を学ぶ。 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 【講義】地方行政をめぐる最近の動向 【講義】未来のフツーを目指したまちづくり～職員力・組織力の強化による更なる地方分権改革の推進～ 【講義・演習】地方分権時代の中で地方自治体に期待される役割 【講義】地方自治の展望 【講義】分権時代における地方議員のあり方 	
成果等 (市に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の豊田市長より、豊田市における具体的施策について学ばせていただいた。特に、地域自治区・地域会議についてや、SAKURA プロジェクト (外部供給機能を社会全体で活用できる仕組みの構築) や里モビプロジェクト (超小型EVを活用した社会実証) 等の具体的施策は大和市への応用可能性が大変高いのではないかと感じた。 ・内閣府の地方分権改革の制度に「提案型募集方式」があるが、全くと言ってよい程地方議員には知られていない。この制度はぜひ他の議員の皆さん方にもしてもらいたい制度であると強く感じた。 	
事業費	35,526 円 交通 26,926 雑費 2,000 研修経費 6,600	

※訪問先が2カ所以上の場合には行程表を添付すること

令和2年度政務活動費調査研究報告書

提出日 R3・2・8

事業名	第三回市町村議会議員特別セミナー		
会派名	大和正風会	報告者	山本光宏 (☎080-5508-8774)
参加者	山本光宏		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	① 令和3年1月25日 13時～16時35分	Zoomを利用したオンライン講習 全国市町村国際文化研修所 (JIAM)
	② 令和3年1月26日 9時～12時30分	Zoomを利用したオンライン講習 全国市町村国際文化研修所 (JIAM)
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	「福祉」という行政課題について、現在における各分野で活躍している講師の先生方から最新情報や様々な知見をお聞きし、大和市の「福祉」をよりよくする気づきを得る為。	
内容	【講義】 社会保障再考 【講義】 共生社会を創る 【講義】 データ活用した健康・福祉のまちづくり 【講義】 地域共生社会における障害福祉の現状と課題	
成果等 (市に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> 各講師の先生方の問題意識、問題提起により「福祉」における課題をマクロな視点を通して再認識できた。そして、我が国の様々な地域において、その問題解決の為の取組が行われ始めていることを認識する事が出来た。勿論これらはそれぞれの地域の実情にあわせての取組であるので、そのまま大和市に持ってくれば大和市の課題解決となるという程簡単な問題ではないが、ヒントには十分成り得ると思う。 オンライン講義という事で、先方もこの様な講義形式は手探り状態であったが、講義として十分で、学ぶことに支障がなかった。今後もオンライン講義を受講し、その知見を大和市に活かしていきたい。 	
事業費	0 円	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること